

第51回 日本美術教育研究発表会 2017

2017(平成29)年10月15日(日) 会場 東京家政大学16号館
 主催 公益社団法人日本美術教育連合 後援 文部科学省(申請中)

9:30 受付(当日、会場案内を1階に掲示します)					
9:45 開会式(発表会場 A 161A室/研究発表者控室 162A室 2階) 発表会場 A と B と C は1階、D と E は2階					
9:55 (移動)					
発表会場 A 161A室 (制度・海外など) 定員116名	発表会場 B 161B室 (美術教育実践など) 定員165名	発表会場 C 161C室 (鑑賞教育など) 定員165名	発表会場 D 162B室 (保育・発達など) 定員165名	発表会場 E 162C室 (多様性など) 定員165名	
10:00	STEAM教育にみる異領域同士の融合原理(1)-関連文献から考察する「Art」の位置付け- 東京家政大学・東京学芸大学大学院博士課程 畑山未央 A1	児童の主体性を引き出す図画工作科授業実践の研究(2)- -中学年の表現活動について- 沖縄カトリック小学校 矢澤 聡 B1	特別支援学級における表現の喜びを育てる版画指導 一般社団法人日本版画院 中條秀憲 C1	幼児の体験と表現 和光鶴川幼稚園 堀 新菜 D1	テキストから豊かに紡いだされる視覚イメージの考察 東京学芸大学大学院博士課程 松井素子 E1
10:25 (移動)					
10:30	日本の国際協力における基礎教育分野の一考察 -造形美術教育の技術移転に関する質的分析- 東京学芸大学附属竹早中学校 山田 猛 A2	中学校美術科の授業におけるコミュニケーションロボット活用の可能性 群馬大学大学院・みどり市立笠懸南中学校 茂木克浩 B2	「共視論」的考察を参考にした図画工作科教育論 お茶の水女子大学附属小学校 堀井武彦 C2	大人が描く子どもの絵 -園での造形活動や図工の時間に生かすための実践活動- 川口短期大学 木谷保憲 D2	子どもの「とらえ直し」についての研究 -ユーモアの発現に着目して- 東洋大学 北澤俊之 E2
10:55 (移動)					
11:00	美術教育における汎用的資質・能力の育成に関する一考察 東京学芸大学附属小金井小学校 守屋 建 A3	〔モジュール発表〕文化多様性の理解を目的とした色彩構成ワークショップの開発 東京福祉大学短期大学部 手塚千尋 佐藤真帆 千葉大学 東京学芸大学 笠原広一 広島大学 池田史志 群馬大学 茂木一司 B4	視覚障害高校生の彫刻鑑賞における対話的支援の役割 明治学院大学非常勤 半田こづえ C3	肢体不自由特別支援学校の美術科指導における目標設定の方法に関する実践研究(1) -実践に対するSTの認識に着目して- 筑波大学大学院 森田 亮 D3	創造主義を支えるシステムの顕在化Ⅱ -美術教育における大正新教育との邂逅と乖離- 東京造形大学 小林貞史 E3
11:25 (移動)					
11:30	21世紀美術科教育教員養成の研究(1) -松原郁二・倉田三郎・熊本高工の美術教育論- 元宇都宮大学 山口喜雄 A4		教育から見た「ソーシャル・エンゲイジド・アート」の実践と分析 東京家政大学 結城孝雄 東京家政大学 畑山未央 C4	小学校高学年における鑑賞活動カリキュラムの研究 府中市立若松小学校 大杉 健 D4	表現活動としての掃除を通した価値観の展開 -「モウソウジ」プロジェクトをもとに- 群馬大学大学院 高木路子 E4
11:55 (移動)					
12:00	研究発表者(全員)への諸連絡				
12:10	屋 食 ・ 休 憩 (11:55~16:55) ※当日、近隣には昼食を購入する店はありません。また、学食も利用できませんので昼食は持参してください。				
13:00	1950-70年代のアメリカにおける美術教育評価論に関する一考察 元筑波大学大学院博士課程 佐藤絵里子 A5	ワークショップにおける関係性に関する実践研究Ⅱ-「場・人・モノ」の関係性に着目したプログラム開発のための仮説モデルの構築- 横浜国立大学大学院研究生 前沢知子 B5	図画工作科における創造活動を通した「造形的な視点」の研究Ⅱ-「思い」と「イメージ」の関係について- 東京学芸大学 西村德行 C5	保育士及び幼稚園・小学校教員養成系学部におけるデザイン思考を活用した学びの研究 東京成徳大学 直井 崇 D5	廃材を用いた環境教育 東京家政大学4年 高橋 遥 E5
13:25 (移動)					
13:30	中学校美術科と国語科の教科融合型学習の研究 -地域の鑑賞から顔料を作り、色名を考える事例から- 大分大学 藤井康子 大分県立美術館 木村典之 津久見市立第一中学校 松永芳恵 A6	絵画の共同制作における場の作り方 館林市立第一小学校 藤原秀博 B6	ソーシャル・プラクティスによる学びの共有と「私たち感」の育成 横浜国立大学大学院 細野泰久 C6	保育者養成における粘土制作体験の教育的意義に関する一考察 -授業観察とアンケート調査に基づいて- 湘北短期大学非常勤 三上 慧 D6	子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題Ⅵ -メタファー画像によるイメージの生成と操作- 東京家政大学 立川泰史 E6
13:55 (移動)					
14:00	秋田&フィンランドの「視覚美術・工芸」教育交流展の実践報告(1) 大崎市立西仙北中学校 田中真二郎 秋田県立西目高等学校 黒木 健 秋田公立美術大学 尾澤 勇 A7	地域の伝統文化を学ぶ教材のあり方を探る -夢獅子を題材とした経験的な学修を中心- 熊本大学 赤木恭子 B7	地域のアートモニュメント(パブリックアート)を活用した鑑賞題材の作成と実践-Webサイト『場・アートクルーズ』を通して- 堺市立美原西中学校 田中圭一 C7	幼小中連携から見えてくること-横浜公立小中学校図工・美術実践現場からの報告- 横浜市立泉が丘中学校 金阿彌彌 横浜市立二ツ橋小学校 松本有加 横浜市立西寺尾小学校 笠本健太 D7	日本美術教育連合「山形文庫」の持続的な活用と美術教育研究の発展を目指して 筑波大学 箕輪佳奈恵 筑波大学 直江俊雄 E7
14:30	休 憩 (14:25~15:55)				
14:40	アイスランドとCity and Country Schoolの交流 東京学芸大学大学院博士課程 伊東一誉 A8	現象学的視点からの造形活動分析による学習者の学びの理解を目指して 神戸市外国語大学大学院・神戸市立港島学園小学部 小田恵子 B8	朝鑑賞の取り組みと成果報告 武蔵野美術大学 三澤一実 C8	英語活動を取り入れた図画工作科の授業開発-美術作品の鑑賞を生かした表現の試み- 福岡教育大学非常勤樋口和美 大分大学 藤井康子 D8	子供が自分らしさに気付く図画工作科の授業づくり 岡山大学教育学部附属小学校 高橋英理子 E8
15:05 (移動)					
15:10	社会と関わる美術教育のあり方-教師教育における再概念化- 韓国春川教育大学 柳 芝英 A9	ESDの視点からみた造形教育の実践 -東日本大震災で被災した宮野森小学校の場合- 東松島市立宮野森小学校 宮崎敏明 B9	地域に根差した美術教育運動 國學院大学栃木短期大学 名取初穂 一般社団法人真岡青年会議所 伊澤 学 C9	知的障害児のコミュニケーション能力を促す造形授業の一考察 筑波大学附属大塚特別支援学校・筑波大学大学院博士課程 森 芸恵 D9	発想や構想の能力と資質・能力論 東京学芸大学 山田一美 E9
15:35 (移動)					
15:40	国際美術教育学会誌に見る研究動向 筑波大学 直江俊雄 A10	教員養成課程の図画工作における対話型造形活動についての一考察 目白大学 佐藤仁美 B10	義務教育段階の造形活動を通じた「アクティブ・ラーニング」の課題 -小学校「ものづくり部」における対話型・主体的学びに関する考察- 東京藝術大学大学院博士課程 C10 中村 儒經	幼児教育における描画活動の環境設定と意義 東京家政大学4年 鈴木紗都子 D10	ジェネリック・スキル獲得を目指したアクティブ・ラーニングによる版画教育実践 帝京大学短期大学 大貫真寿美 帝京大学短期大学 三好昭子 秋草学園短期大学 三好 力 E10
16:05 (移動)					
16:10	閉会式(10分間 発表会場 A ~16:20)				
16:30	第51回日本美術教育研究発表会懇親会・集合写真撮影〔東京家政大学16号館1階カフェラウンジ「ルーチェ」〕				
18:20	※当日、午前中に受付で申込、一般2500円、院生・学生2000円(ワイン・清酒・洋酒のもちりやを歓迎します)昨年度63名参加				